



After Before

サンフラー型シャワーヘッドでホテルライクな浴室。珪藻土塗壁と角のアールが魅力。



全面タイル貼りの浴室は当時に流行した一般的なデザイン。



After

期待感を高める「暗さ」を演出した廊下。



Before

奥へ続く廊下はシンプルでありふれたデザイン。



Before

キッチンと居間は別れていた間取り。



After

アールをつけた開口部とカウンターでキッチンとリビングを一体化。耐力は鉄筋を入れ補強し万全。

けやき建設

物件DATA:千葉県八街市 リフォーム物件

- 竣工年月/2010年10月
- 敷地面積/198㎡(60坪)
- 延床面積/125.4㎡(38坪)
- 築年数/平成7年建築
- リフォーム費用/約900万円
- 工法:構造/木造軸組工法



▶工務店情報はP185

たったひとつしか存在しない、顧客ニーズに応えた家づくり「オリジナル・オンリーワン・ハウス」を掲げているけやき建設。同社が手がけるのは新築事業だけではない。既存物件に新しい魂を吹き込むリノベーション、事業にも目を醒めるものがある。例えばここに紹介するものもその一棟だ。住宅街の一面に佇み、周囲とは異なり異国情緒を醸し出す家。元々平成7年に完成していた大手メーカーの分譲住宅だ。築15年目を迎える頃にリノベーションを行いガラリとその雰囲気を変えている。印象的なのは開口部に設けられた同社オリジナルの鏝戸だ。これがあるだけで外観はかなり洋風なものとなる。室内は全面珪藻土の塗壁と無垢材に囲まれた自然素材の空間。建具や造作家具など随所に浮遊りの杉板や焼杉の板を使ってシックな雰囲気にもとめている。照明は極力埋め込みにして、落ち着いた雰囲気。キッチンのタイル使いや、浴室の水廻り設備などは完全に欧米諸国のホテルのような雰囲気。これは、アメリカで仕入れてきた部材を細部に至るまでひんだんに使用していること、そして何より、同社の一環としたデザインセンスから割り出されるものだろう。



斬新なリノベーションで
定番の分譲設計から変身

かつては天井板があったリビングスペース。吹き抜けにして開放的に。



スキップフロアからの屋内窓や米松のあらし象が、デザインのアクセントとなったS邸LDK。



ステンレスを基調とした、オーダーメイドキッチン。



雨天時には室内干しのランドリースペースに。



階段踊り場からスキップフロアへの扉。



健康配慮の自然素材と 楽しいスキップフロア

けやき建設

物件DATA:千葉県千葉市 S邸

- 竣工年月 / 2013年3月
- 敷地面積 / 182.15㎡(55.1坪)
- 延床面積 / 129.59㎡(39.2坪)
- 家族構成 / 夫婦+子ども1人
- 坪単価 / 約55万円
- 工法・構造 / 木造軸組工法



上/透射で豊富な小窓のレイアウト。視認面でも、充填(グラスウール)工法による断熱、遮音性と気密性も配慮した樹脂サッシを活用。下/緩やかな丸みを帯びた珪藻土壁により独創的な住まい風景が広がる。



ご家族がくつろぐ和室がリビングに隣接。



けやき建設ならではのディテールが各所で光る。



階段下の空間を有効活用した収納とお子さんの通り道。通称「かまくら」。

浴室や玄関を広く、お好みの自然素材・パーツを組み合わせたこだわりのキッチン。無垢材や珪藻土など自然素材をふんだんに使用したい。様々な要望を、けやき建設がプロとして精査し、大満足の仕上がりで成し遂げたのが、千葉市のS邸。

珪藻土壁を用いた随所のR(丸み)はデザイン性と安全性とを兼ね備える。「集材材を使わず極力、無垢材を使用する」の考えに沿って、構造材にも無垢材を使用する徹底ぶり、オリジナリティを感じるのは、何となくも動線巡り。1階はリビング階段を軸としてLDKのキッチンから水廻りを通り、再びリビングへと辿り着く。階段下の空間は収納としても活躍するが、お子さんの通り道としても機能する遊び心。

何となくでもS邸の個性が光る動線配慮は、階段途中の踊り場から行き来できるスキップフロア。キッチン上の屋内窓から顔を出して「ミニミニション」もとれるし、備え付けのミニ梯子でも2階廊下へも移動できる。1階・中2階・2階の3階にお女が楽しい家づくりのS邸は、それぞれの個を尊重しながら、家族の繋がりをバリエーション豊かに形作り、より密接にくつろげる。

スマホで投票!!
ベストハウス総選挙

工務店情報はP185